

ちょうふ環境市民懇談会からのお知らせ

ニュースレター 41

発行：2004年4月

2.29 ガイドウォーク

環境モニター主催

～懐かしさの残るチョット前の“小島町の古地図”を参考に旧家、旧跡をたずねました～

調布駅からほど近い旧甲州街道沿いの「小島町一里塚」の周辺を歩きました。今も名残を残す醤油醸造屋さんとその一画には調布銀行（養蚕農家のまゆ取引のために設立された）があったということです。

お稲荷さんと樹齢400年といわれるモチノキのあるお宅や、樹齢200年といわれる禅寺丸柿の古木のあるお宅をたずねました。「似た姓がおおいなあ」との声が挙がりましたが親戚ではないとのこと。

電通大は当時「御殿山」と言われ柳沢吉保の旧館跡と伝えられ（失脚のため未完成）ています。キャンパスには武蔵野の雑木林に多い“クヌギ・コナラ・シデ類”や平地では珍しい“ヤマトアオダモ”の大木、奥の方には松林の風情も残っており、かつては大きな雑木山でクリ拾いやキノコ狩が行われていたということが充分にほうふつされます。 (A.S)



「環境モニターへのお誘い」

やっていることはガイドウォークやちょうふの自然調べ等です。

“ちょうふの街”をもっとよく知るために、そしてあなたが知った“ちょうふの良いところ”をみんなに正しく楽しく伝える為に、もちろん皆で勉強もしますよ！

調布の自然

生き物編 その



佐須の鳥一日観察記

3月13日に佐須周辺の田んぼと野川でしばらく鳥を見てきました。最近では鳥インフルエンザなどの話題がホットですが、周りの人の話では死んだ鳥はみかけないとのこと、一安心しています。

自分が鳥の鳴声で一番分かりやすいと思うのはカラス。ついでヒヨドリ、ムクドリ、スズメ、オナガと、みな特徴のある鳴き方をするのですぐわかります。同じ鳥でも鳴き方が何種類もあるので、聞いているだけでも面白いです。たまに何かを話し掛けられているような気になります「こっちに来るな」とか「何食べてるんだ?」とか・・・。

話がそれましたが、観察できた鳥は例年とあまり変わりありません。多い順に列挙します。田畑ではスズメ、ムクドリ、ツグミ、ヒヨドリ、カラス二種、カルガモ、セグロセキレイ、ドバト、キジバト、シジュウカラでした。いつもと違うなと思ったのは、ツグミが多いことでした。野川ではカルガモが多く、コサギやマガモは普通、今回、ユリカモメ、カワラヒワは見かけませんでした。民家の庭では、メジロとシジュウカラが数羽アズノ木の木に群れを作っていました。自分の見間違いかもしれませんが、トラツグミがいたようです。どなたか見かけられた方いますか？ (谷戸田 こんどう)

入間・樹林の会

3月21日、前日とはうって変わった快晴の中7人が集まり活動が行われました。はじめにフィールドの管理作業です。二手にわかれて、木の番号札の付け替えと方形枠の修理を行いました。

釘で打ちつけてあった木の番号札は、針金を使って木に巻きつけるようにし、方形枠は、壊れていた3ヶ所の修理をしました。

管理作業のあとに、来年度からの活動について話し合いました。樹林の会として自立した活動を行うために、名簿づくりが提案され了承されました。西側樹林地については、大きくゾーン分けをし、ゾーンの特色を生かした保全計画を作ることを確認しました。地域の自治会との連携については、4月に話しあいをもち、協力をお願いしていく予定です。

西側の民家跡にあった、大量の粗大ゴミは4トントラック1台分ありましたが、業者に依頼し片付けをしてもらいました。今後、ゴミの不法投棄の監視をするためにも地域の人との協力が必要です。(A)



雑木林塾

第5回雑木林塾 2/28 9:30~15:00

参加者17名(職員含む)

かに山にて 花炭づくり・道具の手入と使い方
樹林の観察(冬の虫)

天候に恵まれ、少し体を動かすと汗ばむような朝日を受けて、メジロやシジュウカラなど数種類の小鳥飛びかう中、出来栄えを楽しみに持ち寄った炭作りの材料をブリキ製の缶や茶筒に詰めました。次いで半数の人が薪作りに枯木を切り倒し、洋式のマサカリで薪割りにも楽しい汗を流しました。その間に半数の人は、野草園前に訪れる人々のために笹刈りをしました。

準備がととのい、キャンプ用の竈の前に集まり、先程の薪の上に集めた落ち葉や枯れ枝を乗せ、講師ご自慢の積み上げ方式の焚き火が燃えるのを確かめ、その上に材料入りのブリキ缶を乗せました。薪が燃えて適当な炭火になるのを待って、持参の甘藷を炭火の隙間に並べ、花炭や焼き芋の出来るのを待って昼食としました。



午後は出来上がった自分たちの作品の花炭に歓声をあげ、各自自慢の炭をそれぞれ分かち合いました。器用な会員の作った即製の餅網で、残りの炭火を利用した餅も焼け、参加者は作品の出来栄と、差し入れの焼き芋と焼き餅を味わい大満足をしました。その後講師によるチェーンソー操作の説明をお聞きし、伐採した樹木の残骸処理をしながらカミキリムシなどの幼虫をみつけたり、枯木の原因の虫をルーペで確認したりしました。(原田)

第6回 雑木林塾

3/20 雨

9:30~15:00

参加者16名(職員含む)

AM 市役所内にて

道具の話(刃物の手入)・
学んだことの復習

PM へびやまにて

樹林の観察(花芽と葉芽)
お楽しみ会(野草の味)

午前中は室内にて小池先生からカマ・ハサミ・ノコギリなどの刃物の手入から日本刀の刃の話まで……。その後全6回の講座の成果をみるべく、先生からテスト用紙が配られた。午後は大変寒い雨の中食べられる野草を摘み、屋根のある場所で食す。味噌をつけるとやはりカンゾウがイチオシの味。【ハコベ・カンゾウ・タンポポ・ノゲシ・ノビル・アケビ・ギシギシ】



「調布の自然学習ボランティア」

～ボランティアスタッフ募集！～

総合的な学習の時間に対応する地域プログラム等の作成に関わる市民グループは、地域プログラムを作成し、4月からそのプログラムを活用して「調布の自然学習ボランティア」として活動します。

総合的な学習の時間で、調布の自然をテーマに学習を望んでいる学校は多くありますが、先生だけでは情報も人手も足りません。このグループではそのような小中学校へのサポートとして、野外活動での安全管理サポーターから、講師として調布の自然紹介まで、総合的な学習の時間のお手伝いを行います。私達自身少しずつ学びながらの活動ですので、専門的な知識はなくても大丈夫です。小中学校の「調布の自然学習」のサポートに地域の視点で協力して下さる方を募集しています！

問い合わせ先：環境保全課（81-7086）

ボランティアスタッフ代表 杉山（88-4863）

来年度活動内容予定

「総合的な学習の時間」

などで行う野外活動等サポートとして、月3回程度、小中学校へ出張協力します。（富士見台小学校他）

学校授業のサポートに必要な知識や技術の勉強会を行います。

月2回程度、活動計画、方向性等についての会議を行います。

・・・ちょうふDE田んぼ日記 その11 ・・・

「天地返し」とは？

「天地返し」とは柔道の技ではありません。落ち葉を積み上げて作る肥料「堆肥」をかき混ぜて、空気を入れることです。このおかげで落ち葉がバクテリアなどに分解され、良い肥料ができるのです。

2月22日。田んぼの学校で作っている堆肥の様子を見に行きました。ちょっと中を掘ってみると、いきなり?????の幼虫が出てきてびっくり。堆肥の中にはたくさんの虫が住んでいます。例えばダンゴムシやワラジムシ、ハサミムシ、ムカデやヤスデ、ダニの仲間などです。

落ち葉を食べて分解してくれるミミズなどは田んぼや畑にとっては大切な生き物です。みな食べたり食べられたりしながら温かい堆肥の中で暮らしています。

さてここで問題です。写真に写っている?????とは何でしょう？答えを送ってくれた方5名に、抽選でプレゼントを考えています。答えと面白かった記事など感想やご意見を添えて、環境保全課にメールまたは葉書をお送りください。

住所も忘れずにご記入ください。（田んぼの学校 こんどう）



リレーエッセイ（保全課職員担当）

～「自然の恵み」～

最近、小学校の頃を思い出す。友達と真夏の暑い日、汗びっしょりになりながら校庭で遊んで、疲れてくると校庭の隅にある大きな木の下で休んでいた。

また、私が小学生の頃、調布駅の南口広場には、銀杏の大木が何本もあった。名前は覚えていないがほかの種類の大木もあったと思う。そこでも、やはり、遊びつかれてくると大きな木の根元で休んでいた。そして、そのうち眠ってしまい気が付いたときは夕方になっていたということが何度もあったのを思い出す。いつも周りには自然があり、たくさんの恩恵を受けていた。

最近、私は、人間の生活が多少不便になっても、自然を大切にしたいほうがよいのではないかと思う。これまで生活を優先してきた私たちが、そろそろ自然を優先する時がきているのではないだろうか。自然の恵みのありがたさを思うにつけ自然の大切さを思うこの頃である。（A）



田んぼの学校開校式

日時：4月4日(日) 13:00~
場所：調布ヶ丘地域福祉センター
(今年は、柏野小の児童とも一緒に活動をする
予定です)

入間・樹林の会

日時：4月18日(日) 9:30~
集合場所：入間地域センター
内容：方形枠調査, 階段の整備, 西側ゾーン分
持ち物：軍手・筆記用具・作業できる服(あれ
ばノコギリ等)
問い合わせ：環境保全課(81-7086)

雑木林塾

日時：4月11日(日) 11:00~
集合場所：実篤公園記念館入り口
内容：雑木林塾候補地の視察
持ち物：筆記用具・雑木林内を歩ける服と靴
問い合わせ：環境保全課(81-7086)

環境モニター新メンバー募集

今年度は主に多摩川周辺の自然調べと3ヶ月に
1度の専門家による学習会を予定しています。
日時：4月10日(土) 13:00~
集合場所：市民プール南土手のベンチ付近
内容：調査区域の下見
申込み・問い合わせ：環境保全課(81-7086)
(6月までは変則的ですが、7月以降は第1土
曜日に活動を予定)

環境フェア -

日時：6月5日(土) 10:00~
場所：調布駅南口広場
内容：環境に関する情報提供, 展示, 花の
種やたい肥の無料配布, グループ活
動の紹介ほか

このニュースレターは市のHPでカラー版でみ
られます。

ちょうふ環境市民懇談会メーリングリ ストに参加しませんか？

ちょうふ環境市民懇談会では、多くの方と日
常的に意見交換を行うために、メーリングリ
ストを運営しています。参加希望の方は下記
アドレスにご連絡ください。問合せ・申込
み:(尾辻)

kp5y-otj@asahi-net.or.jp

環境市民懇談会 連絡会議 に参加してみませんか？

連絡会議は各プロジェクトや市内で活動
しているグループの情報交換の場です。現在
活動している方、これから何かやってみたい
なと思っている方、どなたでもお気軽にご参
加ください。

【編集後記】

今年は、桜の開花が例年
より早いので、入学式には
すっかり葉桜になるのではし
ょうか。

神代植物公園以外にも調布
の花の名所マップができるといいな！(あ)



<会議のスケジュール>

日時	場所	活動名/内容
4月14日(水) 18:30~20:30	市役所1階に 掲示	入間・樹林の会 世話人会
4月15日(木) 18:30~20:30	市役所1階に 掲示	環境市民懇談会 運営委員会
4月21日(水) 18:30~20:30	市役所1階に 掲示	環境市民懇談会 連絡会議
4月26日(月) 13:30~16:00	市役所3階 環境部会議室	ニュースレター 編集・次号企画

ちょうふ環境市民懇談会は、調布の自然環境
を保全・改善・回復していくために、「話し
合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、
啓発活動、情報の収集や発信」といった活動を
パートナーシップをもとに進めていくこ
とを目的に設立されました。ぜひ、様々な環
境保全活動へ参加してください。

お問合せ先：調布市環境部環境保全課

TEL：0424-81-7086

E-mail：kanky@w2.city.chofu.tokyo.jp

発行：ちょうふ環境市民懇談会